

西九州大学誘致支援 7億5,735万円可決

当初要望から1億4,735万円の増

6月議会において西九州大学地域看護学部（仮称）誘致にかかる市の補助金7億5,735万円（債務負担額）が提案され、これを可決。

学校法人永原学園は、大学設置にあたって、国・県・市に財政支援の要請をされていた。市としては大学立地に伴う社会的、文化的効果や経済の波及効果等、市の将来展望を開く公共性の高い事業であることから財政支援を行うことを決定。支援額が増加したため、多くの質疑がなされた。

問 県の補助金が当初の要望から減って市の負担が増えた理由は。

答 西九州大学から27年10月に県と市に対して地域看護学部（仮称）設置の要望と財政支援の要請を受けた。（表1参照）
大学は備品等の補

助も望んでいたが、県はこれまでのこともあり、施設整備のみ一定額を補助。このため、県の補助金は当初要望より1億6,684万円の減。市の補助金は当初要望に対して増加しているが、国・県の当初要望の差額分を上乗せして補助するという認識ではない。県の補助は全国で3例しかなく、県の対応は評価している。大学の学部経営の影響を考慮するとともに、直接利益を受ける自治体として最大限できる範囲という思いから算定した。

問 県の補助は施設整備に限って補助基準があることをわかっていただけないか。

答 大学から示された設置計画案での県の補助は、事業費の3分の1の6億1,000万円。これは議会にも説明。県と協議するなかで、建物だけに今ままでおりの補助を考えていると聞いた。そこで、備品や設計も含めての補助ができないか

交渉したが、今までの県の事例から建物だけの補助となった。

問 用地取得費の補助は。

答 旧小城公民館南の前の庭の国有地は当初、市が購入して無償貸与の予定であったが、大学が直接取得（1,528㎡）するため、取得費2,520万円を全額補助。

問 市が大学に補助する財源は。

答 校舎建設等の補助金

7億5,735万円のうち、合併特例債5億8,330万円、残りは一般財源である。

問 大学を誘致するにあたり周辺整備をどうするのか。また、その整備費は。

答 周辺道路等の整備や大学敷地に支障となる桜岡小学校のプール移転用地の取得費用など2億2,052万円である。（表12参照）

《表-1》

総事業費及び資金計画（平成27年10月提示）

総事業費	19億8,000万円	
建設規模： 7,247㎡ 新築：5,110㎡ 改修：2,137㎡	設計費	3,550万円
	建設工事費	15億6,450万円
	備品等購入費	3億8,000万円

公的支援額(案) (当初) (変更)

国 補助金要望額	1億5,000万円	⇒	1億4,400万円
県 補助金要望額	6億1,000万円	⇒	4億4,316万円
市 補助金要望額	6億1,000万円	⇒	7億5,735万円

《表-2》

大学誘致に伴う財政負担一覧表 (単位：千円)

項目	事業費	財源内訳		
		国庫補助	地方債	一般財源
校舎建設等補助金	757,350	0	583,300	174,050
周辺整備事業 ・市道桜岡小・鯖岡線改良 ・小城公園駐車場 ・桜岡支館解体 ・藩邸石橋補修	142,362	52,718	68,800	20,844
計	899,712	52,718	652,100	194,894
その他関連事業 ・プール用地取得費等	78,159	0	0	78,159
合計	977,871	52,718	652,100	273,053

